

平成 27 年度

創 薬 科 学 専 攻
(博士前期課程)

第 2 次 学 生 募 集 要 項

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科

出願手続から入学までの日程

事 項	日 程
出願資格認定申請期間 (出願資格審査が必要な者)	平成26年11月20日(木)～11月26日(水)
出 願 期 間	平成26年12月15日(月)～12月18日(木)
試 験 期 日	平成27年1月22日(木), 1月23日(金)
合 格 者 発 表	平成27年2月6日(金) 17時頃
入 学 手 続	平成27年3月頃
入 学	平成27年4月

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科創薬科学専攻(博士前期課程)

I. アドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

本課程では、創薬科学分野の基礎から応用に関する幅広い知識と研究能力を兼ね備えた人材の養成を目的としています。特に、医薬品をはじめとする種々の生理活性物質を化学的、物理学的又は生物学的側面からとらえた教育・基礎研究を通して、創薬を含む生命科学全般に貢献できる優れた人材の育成を目指します。具体的には、製薬・化学企業における開発研究者・学術研究員・MR、公的機関での研究者、医療・厚生・薬事・環境等の分野での行政担当者などとして活躍する人材を育成します。将来このような分野での活躍を目指す意欲と資質を持つ学生を、出身学部を問わずに受け入れます。

入学者選抜の基本方針としては、一定レベル以上の学力(専攻学術および英語)を有し、将来、上記の分野で活躍することに強い意欲をもっていることを重視します。選抜は、基礎学力、英語能力、論理的思考力等を総合して判定します。

II. 専攻名および募集人員

創薬科学専攻 若干名

授与する学位 修士(創薬科学)

III. 選抜の種類

1. 一般入試

2. 外国人留学生入試

別途、薬学学務係にお問い合わせください。

IV. 出願資格

出願に際しては、あらかじめ指導希望教員と連絡を取ってください。(連絡先は6, 7ページに記載)

次の各号のいずれかに該当(平成27年3月31日までに該当見込みを含む)する者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者
- (6) 文部科学大臣が指定した者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 次のア)からウ)に該当する者であって、本研究科が定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの(注)
 - ア) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
 - イ) 我が国において、外国の大学における15年の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者
 - ウ) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成27年3月31日までに22歳に達する者(注)

(注) 出願資格(8), (9)により出願を希望する者は、出願に先立ち事前に資格を確認しますので、その旨を事前に申し出てください。事前審査に必要な書類等について連絡します。(4ページの「出願期間」に注意)

V. 出願に必要な書類

①	入学願書【様式1】	本学所定の用紙 ③の入学検定料振込金証明書を裏面の所定欄に貼付してください。
②	写真票・受験票【様式2】	本学所定の用紙 脱帽半身正面向き(背景無地)で、出願前3カ月以内に単身撮影した写真を、所定の位置に貼付してください。 (写真の大きさ：縦4cm×横3cm)
③	入学検定料振込金証明書	30,000円 納入方法：本要項に添付の振込依頼書に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関(ゆうちょ銀行・郵便局を除く)の窓口で納入してください。納入後、銀行領収印が押してあることを確認し「振込金証明書」を願書の裏面の所定欄に貼付してください。「領収書」は、大切に保存してください。 (1) 通常、金融機関の窓口営業時間は午後3時までです。土日・祝日は休業となりますので注意してください。 (2) ATM、携帯電話、パソコン等からは振り込まないでください。 出願受理後は、いかなる理由があっても、入学検定料は返還しませんので、注意してください。 ただし、入学検定料の振込後、出願を取り止めた場合は返還手続きを行うことができますので、下記担当まで連絡してください。 なお、返還の際は「領収書(本人控)」及び「振込金証明書(提出用)」が必要になります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 担当：金沢大学財務部財務管理課出納係 〒920-1192 金沢市角間町 電話 (076) 264-5058～5060 </div>
④	学業成績証明書	出身大学(学部)長が作成したもの ※注1 ※注3
⑤	卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書	出身大学(学部)長が作成したもの ※注1 ※注2 ※注3 ④の学業成績証明書に卒業(修了)または卒業(修了)見込が明記してある場合は、本証明書は不要です。
⑥	受験票送付用封筒	本学所定の封筒に362円切手(速達郵便)を貼付、郵便番号、住所、氏名を明記してください。
⑦	連絡受信先シール	郵便番号、住所、氏名等必要事項を記入してください。 (本学所定の用紙)
⑧	その他	日本に在留する外国人志願者は、在留カード(表・裏)写しあるいは外国人登録証明書(表・裏)写し及びパスポートの写し(氏名等の本人情報が記載されているページと最新のビザが記載されているページ)を提出してください。

※注1 短期大学専攻科又は高等専門学校専攻科修了(見込)者は、専攻科及び本科両方の証明書を提出してください。英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳あるいは英訳を添付してください。

※注2 出願資格(2)で出願しようとする者は、学士の学位授与証明書(大学評価・学位授与機構が発行したもの)を提出してください。

※注3 改姓(改名)により証明書等の氏名が異なっている場合は、変更の事実を証明できるもの(戸籍抄本等)を添付してください。

VI. 出願期間

平成26年12月15日(月)～12月18日(木) 17時(必着)

ただし、「IV. 出願資格」のうち(8)、(9)に該当する者は、この期間に先立ち、11月26日(水)17時(必着)までに申請し、出願資格審査を受けなければなりません。

VII. 出願手続き

1. 出願方法及び提出先

志願者は、「V. 出願に必要な書類」を一括して、本学所定の封筒に入れ、出願期間内に到着するよう提出してください。

〔提出先〕 金沢大学薬学学務係

〒920-1192 金沢市角間町 TEL(076)234-6827, 6828

2. 出願及び受験にあたっての注意事項

- ① 出願前に指導希望教員と連絡を取ってください。
- ② すべての書類に記入漏れがないか確認してください。出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。
- ③ 出願書類の記載に不正があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ④ 出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更及び入学検定料の払い戻しはしません。
- ⑤ 受験に関する注意事項(試験室、試験実施方法等)は受験票とともに送付します。

VIII. 入学者選抜の方法

選抜は、学力検査、学業成績証明書等により、総合的に判定します。

期 日	時 間	試験科目	試験場
平成27年1月22日(木)	13:00-15:00	英 語	金沢大学角間キャンパス 自然科学棟(金沢市角間町)
平成27年1月23日(金)	9:30-	口述試験	

IX. 合格者発表

平成27年2月6日(金) 17時

自然科学本館正面玄関において発表するとともに合格者へ郵送で通知します。

X. 入学手続き及び授業料について

2月中旬までに送付する「大学院入学手続要項」によります。

(1) 入学手続き

平成27年3月中旬(予定)

(2) 授業料等納付金

入学料 282,000円(予定)

授業料(前期分) 267,900円(予定)

注：上記の納付金額は予定額であり，入学時または在学中に入学料・授業料が改定された場合には，改定時から新入学料・新授業料が適用されます。

XI. その他

1. 個人情報の取り扱いについて

金沢大学では、「国立大学法人金沢大学個人情報管理規程」等を制定し，本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続時に提出していただく書類に記載されている全ての個人情報は，次の業務で利用します。

- (1) 入学者選抜及び入学手続に関わる業務
- (2) 入学後の学籍管理，修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- (3) 入学料免除，授業料免除，奨学生選考等の修学支援に関わる業務
- (4) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- (5) 入学者選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
- (6) 修了生に対する学習成果等調査(アウトカムズ・アセスメント)，同窓会活動への支援等に関する業務
- (7) その他，個人が特定できない形で行う統計処理業務

2. 学生募集要項の請求

郵送を希望する場合は，返信用封筒(角形2号，205円切手を貼り，請求者の郵便番号，住所，氏名を明記したもの)を同封の上，薬学学務係へ請求してください。請求する際には，封筒の表に「医薬保健学総合研究科創薬科学専攻(博士前期課程)募集要項請求」と朱書きしてください。

(付)各研究分野／指導教員と研究内容

○印は、平成28年3月31日定年退職予定の教員

研究室	研究内容	指導教員
衛生化学 TEL:076-234-4413 E-mail:hayakawa@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 有害化学物質の環境内挙動に関する研究 (2) 内分泌攪乱化学物質・発癌物質の生体影響に関する研究 (3) 生活環境物質の分析法と曝露評価に関する研究	○早川 和一 教授 鳥羽 陽 准教授 唐 寧 助教
生体防御応答学 TEL:076-234-4481 E-mail:nakanaka@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 食食による変性自己細胞除去の仕組みと意義に関する研究 (2) 自然免疫による感染症防止の仕組みに関する研究 (3) 宿主と微生物の相互作用に関する研究	中西 義信 教授 平山(白土)明子 准教授
精密分子構築学 TEL:076-234-4411 E-mail:mukai@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 有機金属化合物を活用する新規反応の開発研究 (2) 生理活性物質及び関連化合物の合成に関する研究 (3) アルキン、アレンの環化反応に関する研究	向 智里 教授 稲垣 冬彦 准教授 安田 茂雄 助教
国際保健薬学 TEL:076-234-4402 E-mail:kimurak@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 医薬品の普及、品質及び適正使用の国際的な確保に関する研究 (2) カウンターフィット薬に関する研究 (3) HIV/AIDS対策及び医療システムに関する研究	木村 和子 教授 坪井 宏仁 准教授 吉田 直子 助教
遺伝情報制御学 TEL:076-234-4487 E-mail:matsukas@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) ゲノム傷害に対する防御応答の分子メカニズムに関する研究 (2) 新規に開発したDNA修復解析系を用いた癌の予防と治療に関する研究 (3) T細胞増殖制御機構に関する研究	松永 司 教授 猪部 学 准教授 若杉 光生 助教
生物有機化学 TEL:076-264-6201 E-mail:kunisima@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 生体機能を利用した有機触媒ならびに有機合成手法の開発 (2) 生体分子の機能解明を志向した化学修飾法の開発 (3) 生命科学への応用を目指した新しい反応や機能性材料の開発	国嶋 崇隆 教授 北村 正典 准教授 山田 耕平 助教
臨床分析科学 TEL:076-234-4459 E-mail:odani@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 新規白金抗がん剤の創薬開発 (2) 薬物のタンパク質結合解明と創薬への応用 (3) がんやその他疾患の診断を目的とする分子イメージング剤の開発研究	小谷 明 教授 小川 数馬 准教授 黄葉 達人 助教
薬物動態学 TEL:076-234-4479 E-mail:tamai@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 創薬のための薬物および生理活性物質の生体膜輸送メカニズムとその制御 (2) 輸送体を利用した薬物の組織・がん選択的デリバリーと吸収促進に関する研究 (3) 生体機能イメージングによる薬物の体内物流・細胞内動態可視化解析	玉井 郁巳 教授 中西 猛夫 准教授 小森 久和 助教
分子薬物治療学 TEL:076-234-4465 E-mail:ykato@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 薬の効果・副作用と薬物分子認識とを統合する定量速度論的研究 (2) 生体膜薬物透過機構の細胞特異性と薬物治療に及ぼす影響に関する研究 (3) タンパク質間相互作用による栄養物と異物の分子識別に関する研究	加藤 将夫 教授 中道 範隆 准教授 増尾 友佑 助教

研究室	研究内容	指導教員
ワクチン・免疫科学 TEL:076-234-4463 E-mail:shigeto@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 自然免疫を賦活化する次世代マラリアワクチンベクターの開発研究 (2) 肝臓特異的遺伝子治療用ベクターの開発研究 (3) マラリア媒介蚊コントロールを評価するためのバイオマーカーの開発研究	吉田 栄人 教授 田村 隆彦 助教 伊従 光洋 助教
薬物代謝安全性学 TEL:076-234-4408 E-mail:nmiki@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 創薬ならびに医薬品適正使用のための薬物代謝研究 (2) ノンコーディングRNAを利用した育薬研究 (3) 医薬品副作用の発症機序解明および予知予防研究	中島 美紀 教授 深見 達基 助教
機能性分子設計学 TEL:076-234-4439 E-mail:jimatsuo@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 小員環の開裂を利用する新しい有機合成反応の開発とその応用 (2) 生理活性化合物の全合成 (3) 新しい反応活性種に関する研究	松尾 淳一 教授 谷口 剛史 助教
分子生薬学(薬用植物園) (後藤准教授) TEL:076-264-6305 E-mail:kngoto@p.kanazawa-u.ac.jp (佐々木准教授) TEL:076-234-4441 E-mail:sasaki@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 薬理活性天然物の合成ならびに化学的修飾による有効性の向上と作用機序の解明 (2) 熱帯雨林産植物からの新規生理活性分子の探索研究 (3) 生薬の基源、品質、生産に関する研究	後藤(中川)享子 准教授 佐々木陽平 准教授 三宅 克典 助教 斎藤 洋平 助教
活性相関物理化学 TEL:076-234-4485 E-mail:oda@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) コンピュータを利用した創薬手法の開発およびその応用 (2) 計算化学手法による生体分子の静的・動的構造の解明 (3) 芳香族有機化合物の光反応・ラジカル反応の機構解明と反応性制御	小田 彰史 准教授 福吉 修一 助教
薬物学 TEL:076-234-4472 E-mail:hinoi@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 神経性アミノ酸シグナリングに関する分子薬理学研究 (2) 神経系および非神経系細胞内シグナル伝達分子に関する研究 (3) 神経系および骨関節系疾患の分子病態解明と治療戦略に関する研究	檜井 栄一 准教授 寶田 剛志 助教
山下研究グループ TEL:076-264-6270 E-mail:katsumi@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) リン酸化・脱リン酸化による細胞周期制御 (2) 細胞周期制御因子の安定性制御機構	山下 克美 准教授
内山研究グループ TEL:076-234-4428 E-mail:uchiyama@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 環境調和型合成反応の開発 (2) 生物活性を有する天然物の合成に関する研究	内山 正彦 准教授

